

1. 河川水質調査(2022年度～2024年度)

2024 年度	河川	累 計	pH	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	大腸菌 (CFU/ 100ml)	ノリマキサン 抽出物質 (mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気 伝導率 (mS/m)	塩化物 イオン (mg/l)	陰イオ ン 界面活性剤 (mg/l)	水温 (℃)
米野木橋	天白川	C	7.4	2.6	3.6	4	10	150	<0.5	2.8	0.27	15	14	0.04	18.3
野方大橋			7.5	2.2	3.0	5	10	260	<0.5	2.3	0.19	15	14	0.03	18.2
新大正橋			7.2	2.7	4.2	4	9.4	480	<0.5	3.1	0.26	18	21	0.04	19.5
岩崎橋	岩崎川		7.3	1.9	3.0	4	10	510	<0.5	2.3	0.20	14	16	0.03	19.7
金剛橋			7.3	1.3	2.2	1	9.8	710	<0.5	1.2	0.048	7.7	5.5	0.02	19.1
小牛橋	北新川		7.1	2.7	2.8	5	9.9	1600	<0.5	2.2	0.19	12	11	0.03	19.0
月花橋	三本川		7.2	3.3	3.0	13	9.9	480	<0.5	2.3	0.24	11	9	0.04	18.8
稲荷橋	折戸川		7.4	2.2	2.6	5	10	230	<0.5	2.1	0.13	18	13	0.04	18.0
広田橋	豊田川		7.3	1.6	2.5	2	11	97	<0.5	2.4	0.73	18	11	0.06	18.2
小川橋	小川		8.2	4.2	7.1	6	12	2000	<0.5	3.1	0.48	25	28	0.05	23.8

2023 年度	河川	累 計	pH	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	大腸菌 (CFU/ 100ml)	ノリマキサン 抽出物質 (mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気 伝導率 (mS/m)	塩化物 イオン (mg/l)	陰イオ ン 界面活性剤 (mg/l)	水温 (℃)
米野木橋	天白川	C	7.3	2.2	4.0	5	9.7	200	<0.5	2.8	0.24	17	17	0.04	18.6
野方大橋			7.4	2.2	3.3	4	10.1	180	<0.5	2.3	0.19	16	14	0.03	18.0
新大正橋			7.2	2.3	4.3	6	9.5	230	<0.5	3.4	0.26	23	21	0.05	19.4
岩崎橋	岩崎川		7.3	2.2	3.3	4	9.9	340	<0.5	2.3	0.20	17	16	0.04	20.3
金剛橋			7.3	1.9	2.1	2	9.9	210	<0.5	0.7	0.03	9	5	0.01	20.2
小牛橋	北新川		7.1	2.2	3.2	3	9.6	430	<0.5	2.5	0.18	13	12	0.03	19.4
月花橋	三本川		7.1	3.7	3.4	2	9.7	490	<0.5	2.1	0.23	11	10	0.03	19.6
稲荷橋	折戸川		7.4	2.9	3.0	5	10.3	260	<0.5	2.8	0.15	18	14	0.04	17.9
広田橋	豊田川		7.3	2.4	3.1	2	9.6	250	<0.5	2.5	0.25	18	11	0.05	18.5
小川橋	小川		8.3	3.2	7.0	3	12.7	1,100	<0.5	3.0	0.49	26	27	0.06	24.7

2022 年度	河川	累 計	pH	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	大腸菌 (CFU/ 100ml)	ノリマキサン 抽出物質 (mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気 伝導率 (mS/m)	塩化物 イオン (mg/l)	陰イオ ン 界面活性剤 (mg/l)	水温 (℃)
米野木橋	天白川	C	7.3	3.3	4.3	9	9.7	77	<0.5	3.0	0.31	16	17	0.04	19.6
野方大橋			7.6	2.6	3.3	5	10.0	62	<0.5	2.4	0.20	15	15	0.03	20.4
新大正橋			7.2	3.2	4.5	5	9.9	200	<0.5	3.6	0.27	20	22	0.05	20.6
岩崎橋	岩崎川		7.2	2.6	3.3	3	9.7	270	<0.5	2.3	0.21	15	18	0.03	21.2
金剛橋			7.3	2.2	2.2	3	9.7	250	<0.5	0.8	0.04	9	6	0.01	21.3
小牛橋	北新川		7.0	2.5	3.0	3	9.5	360	<0.5	2.3	0.13	12	12	0.03	20.4
月花橋	三本川		7.1	2.6	3.1	2	9.4	190	<0.5	1.9	0.23	11	10	0.04	20.0
稲荷橋	折戸川		7.4	2.3	3.8	7	11.0	220	<0.5	2.5	0.18	17	14	0.04	20.1
広田橋	豊田川		7.3	2.6	2.6	2	11.0	150	<0.5	2.7	0.27	19	13	0.04	19.9
小川橋	小川		8.4	6.0	8.3	7	12.0	670	<0.5	3.4	0.61	24	28	0.06	26.1

備考 ①環境基本法に基づく「生活環境の保全に関する基準(河川)」における水域類型の指定について、天白川のみC類型に指定されています。

②BODは測定結果の75%水質値※。その他の項目は年間平均値

※BOD水質値とは、全データを小さいほうから順に並べ0.75×n番目のデータのことをいう。BODの評価についてはBOD75%水質値を用いる。

【表】生活環境保全に関する環境基準(生活環境項目)【河川(湖沼を除く。】

累計	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	1mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	20CFU/100ml 以下
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	2mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	300CFU/100ml 以下
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	3mg/L 以下	25mg/L 以下	5mg/L 以上	1,000CFU/100ml 以下
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	5mg/L 以下	50mg/L 以下	5mg/L 以上	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0 以上 8.5 以下	8mg/L 以下	100mg/L 以下	2mg/L 以上	
E	工業用水3級、環境保全	6.0 以上 8.5 以下	10mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2mg/L 以上	

用語解説について

累計水素イオン度 (pH)	水素イオンの濃度。pH7を中性とし、数値が小さくなるほど酸性(pH0～7)の度合いが強くなり、値が大きくなるほどアルカリ性(pH7～14)の度合いが強くなります。pHが基準の範囲から出ると、河川の生産性が低下し、水処理にも悪影響が出るとわれています。
BOD (mg/l)	生物化学的酸素要求量。水中の汚濁物質(主として有機物)が微生物によって酸化分解されるときに必要なとされる酸素量、河川の汚濁を表す代表的な指標です。値が大きいほど汚濁の度合いが著しいことを表します。
COD (mg/l)	化学的酸素要求量。水中の汚濁物質(主として有機物)を酸化剤で化学的に酸化するとき消費される酸素量で、海域や湖沼の汚濁を表す代表的な指標です。 値が大きいほど汚濁の度合いが著しいことを表します。
SS (mg/l)	浮遊物質。水中に浮遊又は懸濁している粒形2mm以下の物質の量のことで、微生物などの有機物や無機物などが含まれる。値が大きいほど水の透明度などの外観が悪化するほか、魚のえら呼吸や水中植物の光合成に影響することがあります。
DO (mg/l)	溶存酸素量。水中に溶け込んでいる酸素量のことをいいます。 水質の指標として用いられ、値が大きいほど水質は良好とされています。
大腸菌数 (CFU/100ml)	人や動物の糞便中には大腸菌が多く存在するため、これを測ることにより糞便による汚染の程度を知ることができます。値が大きいほど汚染が進んでいると考えられています。
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/l)	油脂、ワックス、グリッドなど酸性でノルマルヘキサンにより抽出される物質の総称で、通常「油分等」といわれており、鉱油、動植物油等の量を表す指標として使われています。 油が流出すると、魚介類の死滅や農作物の生育を阻害、油臭の原因となります。
全窒素 (mg/l)	環境水中の窒素の化合物の濃度。 窒素とともに、水中の栄養塩類として藻類や植物プランクトンの増殖に不可欠な物質ですが、含有量が増加すると富栄養化を促進する原因となり、閉鎖性水域では赤潮やアオコの発生原因となります。
全りん (mg/l)	環境水中のリンの化合物の濃度。 水中の栄養塩類として藻類や植物プランクトンの増殖に不可欠な物質ですが、含有量が増加すると富栄養化を促進する原因となり、閉鎖性水域では赤潮やアオコの発生原因となります。
電気伝導率 (mS/m)	水の電流の通しやすさを示す指標です。電解質が多いと電流を通しやすく、少ないと電流を通しにくくなります。 電気伝導率を測ることで、水の中に不純物として電解質がどの程度含まれるのかを知ることができます。
塩化物イオン (mg/l)	水中に溶解している塩化物の塩素分のことで、排水の混入や希釈度の指標となります。 自然水中にはほとんど存在せず、人為的汚濁が進んだ河川ほど高い値を示します。
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	合成洗剤の有効成分で、水溶液中で電離して主体が陰イオンになるものの濃度です。 合成洗剤による著しい発泡や水生生物への影響などの問題から測定するものです。

2. 河川底質調査(2022年度～2024年度)

2024 年度	ヒ素	鉛	カドミウム	全水銀	六価クロム	シアン化合物	有機リン
岩崎橋	0.6	1.0	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
米野木橋	1.5	2.4	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
野方大橋	0.7	1.1	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
新大正橋	0.8	0.8	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
金剛橋	1.3	2.1	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1

2023 年度	ヒ素	鉛	カドミウム	全水銀	六価クロム	シアン化合物	有機リン
岩崎橋	0.7	1.0	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
米野木橋	0.5	1.3	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
野方大橋	<0.5	2.8	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
新大正橋	3.0	4.9	0.08	<0.01	<2	<0.5	<1
金剛橋	1.0	2.7	0.06	<0.01	<2	<0.5	<1

2022 年度	ヒ素	鉛	カドミウム	全水銀	六価クロム	シアン化合物	有機リン
岩崎橋	1.3	6.2	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
米野木橋	1.4	2.8	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
野方大橋	1.2	3.4	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
新大正橋	1.1	3.2	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
金剛橋	3.2	3.8	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1

3. ため池水質調査(2022年度～2024年度)

2024年度	PH	COD (mg/l)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気伝導率 (mS/m)
上納池	9.8	27	50	24	6.0	0.33	9.8
笠寺池	6.1	13	4	3.7	1.3	0.11	4.3
芋地池	*	*	*	*	*	*	*
弁天池	7.6	3.1	2	8.6	0.43	0.02	12
三ヶ峯下池	7.0	5.2	7	11	0.88	0.07	5.4
岩藤新池	7.0	4.0	<1	8.6	0.29	0.003	3.5
林池	7.4	5.1	5	8.8	0.53	0.048	7.9
三ツ池(野方)	8.0	7.9	7	9.2	0.74	0.041	28
機織池	8.7	2.7	2	9.9	0.36	0.029	8.6
鶴思慕池	5.4	1.8	<1	8.7	0.27	<0.003	2.1

*芋地池は耐震工事中のため数値無し。工事後は調査予定

2023 年度	PH	COD (mg/l)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気伝導率 (mS/m)
上納池	7.1	12.0	10	16.0	3.5	0.25	9.6
笠寺池	6.6	13.0	7	8.7	1.2	0.26	5.4
芋地池	8.2	4.3	30	11.0	1.3	0.07	14.0
弁天池	7.4	2.6	2	7.6	0.4	0.01	1.2
三ヶ峯下池	6.8	3.7	3	8.9	0.4	0.04	4.2
岩藤新池	6.7	2.6	2	8.0	0.3	0.01	3.6
林池	7.1	4.8	2	8.1	0.6	0.06	6.3
三ツ池(野方)	7.3	9.9	26	9.3	1.6	0.06	23.0
機織池	8.3	3.0	<1	10.0	0.4	0.01	7.5
鶴思慕池	5.4	1.2	2	8.3	0.1	0.01	1.6

2022 年度	PH	COD (mg/l)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気伝導率 (mS/m)
上納池	7.0	6.7	13	6.5	0.9	0.12	8.1
笠寺池	6.8	13	7	6.2	1.1	0.24	6.8
芋地池	7.9	3.1	68	7.5	1.0	0.11	13.0
弁天池	7.4	3.5	6	6.7	0.7	0.02	11.0
海老池	7.1	12.0	48	9.3	3.8	0.34	8.6
三ヶ峯下池	6.7	7.8	12	6.6	1.4	0.10	4.4
岩藤新池	6.8	4.6	<1	7.5	0.2	0.004	3.3
林池	7.1	5.3	4	5.8	0.6	0.06	7.8
三ツ池(野方)	7.4	6.8	10	7.8	0.9	0.06	20.0
機織池	7.4	3.9	4	6.9	0.4	0.03	8.8
鶴思慕池	5.7	1.8	2	7.3	0.2	0.02	2.2

日進市環境基本計画年次報告書
（令和6年度の実施状況）
令和7年10月
日進市市民生活部環境課